

21世紀のロータリーは



パストガバナー 戸田 孝

ロータリーは多くの先人の英知を結集し、幾多の困難を克服して素晴らしいR.を私達に託された。21世紀は私達が燃えさかるR.のたいまつを若い人々に手渡さねばならない。その為には魅力あるR.を伝えねばならない。

① R.は人間の満足を充す道である。……R.の真の姿はE.S.S.で表わされる。「Enjoy Study Service 楽しみ、学び、奉仕する」と、
E…親睦の相互作用で思いやりの心を会得し、
S…R.の哲学を学び会員相互で自己を研鑽し、
S…思いやりの心で世の為人の為に尽す。

◎心理学者A・マズローは「人間の真の満中は欲求を充すことなくしては得られない。」と語り、欲求の5段階説を立て、低次の欲求から第1段階—生理的欲求…食べたい 眠りたい等、生存の為の欲求。第2段階—安全の欲求…生活環境のすべての危険から自己を防衛しようとする欲求。第3段階—親和の欲求…集団の中で円満な関係を築こうとする欲求。第4段階—尊敬欲求…集団の中で人のお役にたち、尊敬されるような自己の完成を目指す欲求。第5段階—自己実現の欲求…理想、目的を達成し、他人の為に尽そうとする欲求、以上、3～5段階の高度の欲求は、R.のESSの実践により叶えられよう。「ロータリーは人間の満足を充す道である。」

② Rn.の行動の指針と、R.の理想像を示すもの

◎R.綱領—R.の目的を達成する為の最重要なもので、その本文に「Rn.の事業は社会に役立つ有益な事業である、その根底に奉仕の理想を定着させ育てあげること。」と実業倫理の向上を強調している。

◎奉仕の理想—「他人への思いやりの心、助け合いの心」で、イエスの「汝他人より与えられんと欲するすべてを他人に与えよ」と同じ精神で、人間の倫理、近代道徳を顕すものだ。

◎職業奉仕—R.独自のもので、Rn.の企業経営の基本に相手の身になって考える奉仕を置くことで、実業倫理を高め、お客の信用を得て企業の永続発展につながる。即ち「人の為に尽すことが、実は自分の為にもなる」というR.の実践倫理に基づく。

企業の取引は関係する全てに喜ばれること、お客には正直親切、従業員には公平と待遇、仕入先には誠実な取引、同業者には信義と友情。

◎決議23-34—R.の哲学を示した重要決議だ。

第1、R.とは何か…R.は利己と利他の調和を目的とする人生哲学である。

第2、RCの役割…奉仕の理論が職業及び人生の成功と幸福の基礎であることを学ぶ場である。

第3、RIの目的…奉仕の理想を育成普及し、RCを設立し、各RCに有益な助言を与えること。

第4、奉仕するものは行動しなければならない…R.は単なる心構えでなく行動に表わさねばならない。

第5、RCは地域社会への奉仕を選ぶ自主権を有している…RIは何かを命じたり禁じたりしてはならない。

第6、RCの団体奉仕の推奨事項…g項にRCが一団となって行動するより広くRn.個々の力を動員するものが望ましい、RCの社会奉仕はRn.に奉仕の訓練を施す場である。

◎2つの標語…①超我の奉仕「Service Above Self」 ②最もよく奉仕する者、最も多く報いられる「He Profits Most Who Service Best」

◎「心に感動を呼ぶ名句」より…「買う人の身になって物を売る。使う人の身になって物をつくる。受ける人の身になって奉仕する。」

R : ロータリーの略

Rn : ロータリアンの略